

No.	書名	著者・編者・監修等	出版	内容
1	働くママのための妊娠・出産・育児のお金と制度、ぜんぶ教えてください!	畠中雅子著	日東書院本社	育休中にもらえるお金はある? 子育て中は残業しなくてもいい? 妊娠・出産・育児にまつわる助成制度を取り上げ、各制度の手続き方法を解説。遠くない将来にかかってくる教育費についても掲載する。チェックリストあり。
2	子どもの性暴力被害とトラウマからの回復	藤森和美著	誠信書房	子どもの性暴力被害で混乱し、危機状態に陥った保護者や家族を援助するための本。どう子どもに声がけをするか、対応をするか。保護者への心理教育と体感的な理解に役立つワークを収録。ワークのダウンロード用QRコード付き。
3	同意なんかしていない	菊池真理子著	文藝春秋	「同意したこと、に、されてきた」…。サバイバーであるマンガ家が“不同意性交”の被害者との出会いを通じて、性被害の実態を描くノンフィクションエッセイコミック。『文春オンライン』掲載を書籍化。
4	うちの子、発育が早いかな? と思ったら読む本	今西洋介監修	日東書院本社	低学年での急激な背の伸び、体毛、胸の膨らみ、初経など、子どもの「早すぎる成長」に不安を感じる保護者に向け、思春期早発症の全体像と標準的な治療の知識を解説。実際に向き合った保護者のリアルボイスも収録。
5	10代のうちに知っておきたい心の守り方	栗本顕著	かんき出版	友だち、いじめ、勉強、自分のこと、そして家族…。実際に寄せられた中学生たちの声をもとに、さまざまな「しんどい」を23のストーリーで紹介。具体的な対処法や心がこわれそうになったときの考え方をまとめる。
6	がんばらないまいにちのリセット習慣	川添亜樹著	扶桑社	疲れやすい、よく眠れない、気分が落ち込みやすい、生理前の不調がつらいといった症状は、腸と自律神経が疲れているサイン。腸と自律神経を整える食と生活習慣を紹介する。妊活中の人に向けたコラムも掲載。
7	やさしいフェム活	芳川悠著	三笠書房	多くの人が「女性だから仕方ない」と不調を当たり前のこととして受け入れてしまっている。生活習慣を通して女性の体と心を包括的に整え、体の不調・心のストレスを解消する「フェム活」を紹介する。
8	わたしはいま、地方で学んでいます。	西谷昌記著	日刊現代	生きづらさを抱え、迷い、悩みながらも、「学び直し」を続ける彼女たちの行く先とは…。地方に暮らす5人の女性が「学び」をきっかけに社会とつながるまでを描くオムニバス小説。
9	彼女たちの「戦後」	山本昭宏著	岩波書店	戦後日本を女性たちはどう生きたのか。男社会に風穴を開けた、黒柳徹子、土井たか子ら12人の著名な女性たちに注目し、彼女たちの様々な営為を広い意味での民主主義をめぐる思想として把握し直す。『世界』連載に加筆修正。
10	空と花のパレード	天川栄人作 くりたゆき装画・挿絵	くもん出版	ある日、双子の妹が「自分は男だ」と言い出し…。高校からは男子生徒として生きていくことに決めたソラと、そんなソラの変化に戸惑う双子の姉ハナの物語。用語解説・ブックリスト等も掲載。『朝日中高生新聞』連載に加筆修正。
11	ひとりでも大丈夫! 私らしく生きるための「自分介護」	太田差恵子著	PHP研究所	誰に入院保証人になってもらう? 高齢者等終身サポートとは? 主たる介護者がいなくても大丈夫? 介護費用はいくらかかる? 高齢者施設に入る方がいい? 自分で自分の介護を行うために知っておくべき情報や知恵を紹介。
12	小さな庭づくり&花づくり		ブティック社	オリジナルの庭を実現するかんたんDIYや、花壇づくりの知識など、はじめての庭づくりを紹介するほか、コンテナガーデン&寄せ植えレッスン、ベランダガーデニングのアイデアなどを解説。はじめてでも育てやすい植物も掲載。
13	図解わかる年金	中尾幸村著 中尾孝子著	新星出版社	老齢年金、障害年金、遺族年金は、いつから、いくら受け取れるのか。年金の給付条件や必要な手続きなど、最新データに基づいて詳細にわかりやすく解説する。2026年4月現在の制度・法律に対応。
14	日本一わかりやすい「デジタル終活・遺品の探し方」実践ガイド	末吉謙佑著 木村元成著	イースト・プレス	自分のためにも、家族のためにも、今すぐ始められる実践的なデジタル終活ガイド。デジタル遺品の探し方から整理・管理・引き継ぎ方までを解説。デジタル資産管理シート等のダウンロード用QRコード(図書館利用可)付き。

15	もしもわたしが	ユンミスク絵 チャンドクヒョン文	童心社	ある日を境に、王さまの命令で排除されていく人々。わたしには関係なかったので、だまっていた。もしもわたしが、あのとき声をあげていれば…。差別や憎しみに満ちた社会において必要とされる人権について描いた絵本。
16	まほうのクレヨン	塩谷玲依文・絵	文芸社	きれいな模様のちょうちょさん、力強いかぶと虫くん…。友だちと較べて、自分には特別なものが何もないと悩むカタツムリの「ぼく」は、まほうのクレヨンで“になりたい自分”を探します。でも、本当になりたかったのは…。
17	いもうとのにゅうがくしき	しんやゆうこ絵 ふくだたかひろ文	講談社	今日は妹の特別支援学校の入学式。姉の私は心配して、小学校を休んでついていくことに…。特別支援学校の先生を長年務めた児童文学作家が、1年生になった女の子と、彼女を見守る家族の温かいまなざしを描く。
18	やさいぐぐぐん	金内織恵作	童心社	むくむく、ずんずん、はっぱのなかに、つぶつぶ、こんもり、ぐぐぐん、ぐぐぐん…。やさいをみずみずしく描いた絵本。赤ちゃんが大好きな心地よいリズムのことばがいっぱい。
19	ポケットのないカンガルー	H.A.レイエ エミイ・ペインさく	偕成社	おかあさんカンガルーのケイティはおなかにポケットがないので、小さな坊やのフレディをどこにも連れて行けません。そこでケイティはフレディと一緒に町へポケットを買いに行くことにしました…。世代をこえて愛される名作。
20	たなばたねがいごとかいたのだあれ?	吉田朋子制作 ねぎしれいこ作	世界文化ワンダーグループ	たなばたの短冊の字が消えてしまいました。たなばたの飾りたちは、名前のところに「う」だけ消えずに残っているのを見て、うしさんのところへ行ってみることに…。日本の伝統行事「たなばた」を楽しむお話絵本。
21	ナイチンゲールの風が吹く	田中ひかる著	小学館	日本が大きく変わった激動の明治時代。桜井看護学校(現・女子学院)で学んだ大関和は、確かな技術と思いやりの心で、新しい看護の道を切りひらき…。実話を元にした物語。
22	せんせいのなみだ	石川えりこ絵 くすのきしげのり作	佼成出版社	思わず口にしてしまった「しんじゃえ!」という一言。絶対に怒られると思ったのに、先生は泣いた。おなかに赤ちゃんがいる先生は、いのちの授業を始め…。言葉の重さといのちの大切さについて考える絵本。
23	うえからみたりよこからみたり	麻生知子さく	福音館書店	ソフトクリーム、朝顔、目玉焼き、金魚鉢、玉入れ、お地蔵さん…。上から見たときと、横から見たときの姿を描きます。視点の違いによる発見が楽しい絵本。
24	転落男性論	西井 開著	金剛出版	男性を縛ってきたのは、男らしさを達成したいという上昇の願望ではなく、ここから転げ落ちたくないという不安ではなかったか? 語られなかった男性たちの経験を<転落>の現象から見つめる、比類なき臨床社会学的試論。
25	なぜ男は救われないのか	リチャード・V.リーヴス著 齋藤 圭介訳	太田出版	最新のデータが明らかにする、現代アメリカ社会で生きる男の子や男性に課せられた数々の苦境。現実を直視しない左派と、時計の針を戻したい右派。真のジェンダー平等を達成するために、実践的で革新的な提案を行う。
26	永遠猫の祝福	清水 晴木著	実業之日本社	中学生の景奈が会ったのはベージュと黒のマーブル模様の猫だった。エルと名乗る「彼」は老いもせず、病に倒れることもない。永遠にも似た時間を生きるエルが、母や友との向き合い方に悩み揺れる景奈に問いかけた言葉とは-。
27	わたしたちは無痛恋愛がしたい 8	瀧波 ユカリ著	講談社	大島沙世が、2年付き合ったパートナーに別の家庭があることを知ったのは、身籠った後だった。意図せずシングルマザーとなり、自分の傷付けられた気持ちに向き合い続け、ついに「貞操権」をかけて裁判を起こす決意をする。彼女の生き方を知ったみなみと、自身も独身偽装の被害に遭った赤井川さんは、彼女を見守るべく裁判の傍聴に向かう。
28	降っても晴れても	長倉 伯博著	本願寺出版社	落ち込んだ日にはそっとこの本を開いてみて-。「泣かない私は冷たい人間か」「余命告知を娘にどう伝えるか」など、終活や生死の問題を中心とした悩みに、千軍万馬の僧侶がよりそいこたえます。『南日本新聞』掲載を加筆修正。
29	ノーマイク鑑定士	石田 夏穂著	中央公論新社	「御社にスッピンがいる」という取引先の一言から、営業部員の中村は同僚たちの化粧事情を調査することに…。表題作をはじめ、働く人々の悲喜こもごもを鮮やかに切り取る、全4篇の労働讃歌短篇集。

30	ぼけていく私	佐藤 愛子/響子/桃子著	文藝春秋	102歳の作家・佐藤愛子の最後のインタビューを収録。長生きの秘訣などを語る。また、娘と孫が「佐藤愛子」の家と仕事とお金と恋のことを赤裸々に明かす。『週刊文春WOMAN』連載を単行本化。
31	マダムたちのルームシェア6	seko koseko著	KADOKAWA	沙苗、栞、晴子、古くからの友人である3人は、暑い夏はプールに出かけたり、スタンプカードを自作してラジオ体操に励んだり、食欲の秋は皆で梨狩りをしたり…。マダムたちのルームシェアライフを描くコミック。
32	ジェンダー化される脳	ジーナ・リッポン著 大隅典子監訳	国書刊行会	脳に性差はあるのか? 18世紀以降の科学界の性差別を検証し、「女性/男性特有の脳」「科学は女性に向かない」などジェンダー・ギャップを正当化する誤った言説受容の危うさを突く。
33	ぼそぼそ声のフェミニズム	栗田隆子著	作品社	現在の社会が見ないようにしてきた問題を、さらには、それと闘うはずのフェミニズム理論や社会運動からすらこぼれ落ちてきたものを拾い集めて、つぶやき続ける…。「弱さ」と共にある、これからのフェミニズムのかたちを描く。
34	報われない社会で、それでも生きる	上野千鶴子著 アグネス・チャン著	Gakken	アグネス論争から40年。論争を経て、女性の生き方、働き方はどのように変化したのか。歌手、エッセイストのアグネス・チャンと社会学者の上野千鶴子が、女性を取り巻く様々な問題について語り合う。
35	マイペースで働く!女子のひとり起業	滝岡幸子著	同文館出版	雑貨屋、アクセサリー作家、料理家…。好きなこと・得意なことでも何歳になっても自分の裁量で稼ぐ、女子のひとり起業。趣味で終わらせず仕事にできる人がしていることやひとり起業の成功例など、ノウハウを大公開。
36	離婚と離婚後の生活で知りたいことが全部のってる本	主婦の友社編	主婦の友社	離婚を決意した人が離婚成立までにやるべきこと、離婚後の生活を軌道に乗せるためのノウハウを、法律家と離婚カウンセラーがアドバイス。子連れ離婚や熟年離婚のケース、離婚前後のメンタルケアも網羅する。
37	仕事に行ってきますプラス	季刊『コトノネ』編集部著	埼玉福祉会出版部	知的・身体・精神など障害のある人の、仕事や毎日の暮らしに「プラス」になることを解説するバリアフリーの本。「子育てしながらはたらく」をテーマに、はたらかながら妊娠、出産、子育てをする知的障害のある夫婦を紹介する。
38	赤ちゃんのホンネ	森田綾著	クリエイツかもがわ	私の抱っこが下手なの? なぜ急に夜中に起きるの? 何をして遊ぶ? 0~1歳の赤ちゃんに対するママの疑問を、作業療法士の視点でわかりやすく解説する。赤ちゃんの気持ちになってみる「赤ちゃん発達ワーク」も収録。
39	きれいごと抜きの人対人援助術	春日武彦著	中央法規出版	話が通じない相手、理解しがたい家族、拭えない無力感…。精神科医カスガ先生とトリイさんの会話で、現場の「詰んだ状況」を解きほぐし、落としどころや自分を守る戦略を伝える。
40	今日、自分のために何ができる?	池田由芽著	KADOKAWA	極端に過酷な家庭環境に育ってなくても、知らず知らずのうちに多くの人が心の傷を抱えている。心の傷を克服して、自分らしく生き生きとした暮らしを取り戻すまでの方法を漫画やイラストを交えて解説する。
41	性別違和に生まれて	松永正訓著	中央公論新社	わが子が性別違和を訴えた。居場所を失い、すべてを投げ出そうとしたこともあった。その時、親と子は何を考えていたのか。互いの思いを綴り合い、実子が自分らしさを取り戻すまでの23年間を描いたルポルタージュ。
42	ヒトラーに抵抗した女性たち	遠藤孝夫著	彩流社	激動の20世紀ドイツを生きた3人の女性たちは、何を考え、何を願いながら、ナチズム体制に抗い続けたのか。彼女たちの精神的強さにまで迫りながら、その闘いを活写する。
43	吉屋信子シスターフッドの源流	県立神奈川近代文学館編 神奈川文学振興会編	港の人	「花物語」で注目を集め、生涯にわたり第一線で活躍した作家・吉屋信子。その生涯と作品の数々を、<シスターフッド>を軸にたどる。県立神奈川近代文学館で2026年4~5月に開催の展覧会の公式図録。
44	わたしは社会	芝夏子著	朝日新聞出版	たまたま求人を見かけて、放課後児童クラブで働きだした。「せんせい」と呼ばれることに違和感を持ちながらも、子どもとの距離感を模索するが…。表題作に「煙草の神様」を併録。『小説トリッパー』掲載を書籍化。

45	わたしの日々が、言葉になるまで	町田そのこ著 NHK「わたしの日々が、言葉になるまで」制作班著	祥伝社	自分の気持ちがモヤモヤしているときの対処法は？誤解されるのが怖くて言えないときは？読んでもらえる文章にするコツは？自分の言葉を持つには？作家・町田そのこが言語化に関する57の悩みに答える。
46	「フツーに生きる」がなんでできないのかやっと気づいたから聞いて	綾瀬ちい著	KADOKAWA	小さいころから学業優秀、就活では大手企業から続々内定。だが、社会に出る寸前に突然つまづいた。自分の特性を知って気づいたのは…。現代の生きづらさを徹底的に自己分析した、Z世代ど真ん中エッセイ。
47	女性たちのデザイン史	アン・マッシー著 大野千鶴訳	ビー・エヌ・エヌ	男性のスターデザイナーを中心として語られてきた近代デザイン史の中には、不可視化されてきた女性たちの実践と貢献が存在する。1900年代から現代まで、デザイン分野を横断し、女性たちの仕事を歴史の中に位置づけ直す。